

## 市町村合併 とは!?

## 第3回 労働大学

# 「市町村合併学習会」

来年3月末の合併特例法・適用締切りに向け、県内でも市町村合併論議が活発化しています。市町村合併は、①財政基盤の強化、②行政運営の効率化、③多様化する住民要望への対応、④地方分権の推進、⑤広域化する生活圏への対応などを目的としています。

そこで市町村合併の意義・必要性とメリット・デメリットを学んでもらう、連合群馬第3回労働大学「市町村合併学習会」を6月5日(土)メトロポリタン高崎で開催し、県民を含め140名が参加しました。

講師のNPO法人ComPus地域支援ネットワーク理事である澤合浩介さんは、「明治の大合併」は小学校建設のため、「昭和の大合併」は中学校建設の財源確保のためなど過去の市町村合併の流れを説明し、今回の合併は構造的歳入欠陥に応じたリストラであるとし、

- \*日本の財政は破綻の状況であり、国・都道府県・市町村の支出削減は避けられない
- \*国民の貯金で国債を買い上げ、帳尻合わせをしているが、財政は今後一層悪化することが確実
- \*国の責任だから何とかしろと言っても、後々、自分に返ってくるだけで何も解決しないと、話がありました。

また、県内の合併論議の状況や枠組みについて持論を展開するとともに、合併特例債については出身地である山口県周南市を例に挙げ、あくまでも「債務=借金」であり、そのツケは将来重くのしかかる。赤字財政の国の補助金も信用はできず、安易に使うべきでない。

100年先は見据えなくとも20年先を見据え、今後更に進む高齢・少子化への対応を考えるべきであると説明されました。

連合群馬は市町村合併を基本的に推進すべきとの立場であり、以下の考え方を基本とするべきと考えます。

- ①住民意識を反映した理解の得られる市町村合併の推進
- ②合併後の財政負担は合併前に比較し増加しないこと
- ③合併後は新たな議員定数に移行すべきこと
- ④合併日は行政運営の円滑な移行を加味し決定すること

皆さん、私たち自身の将来の問題として、合併協議に注目しましょう!

**速報!!**  
平和を願って  
千羽鶴が続々到着!

構成組織組合員の皆さんからのご理解・ご協力により6月9日現在で千羽鶴が、10,455羽届けられました。

第1弾として、まず沖縄へお届けします!



## ボウリングで組織交流

連合群馬青年委員会第1回ボウリング大会開催!

5月23日(日)AMFパークレーン高崎において、連合群馬青年委員会主催の第1回ボウリング大会が開催され、70名の青年・女性組合員が産別・単組の枠を超えて交流を深めました。

今回はチーム対抗戦としましたが、チームのメンバーは全て他の組織同士、また、女性参加者も多く全チームに1人ずつ入るようにチーム編成をしました。

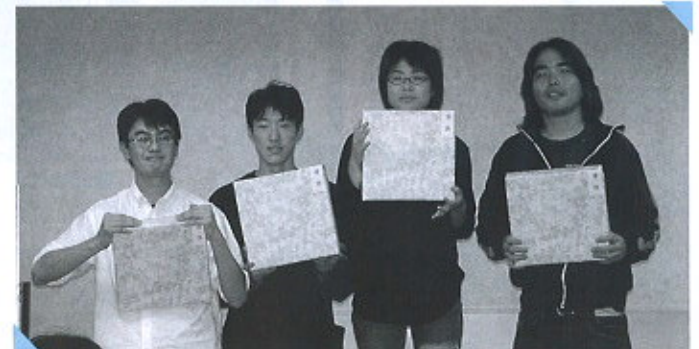
初めて知り合ったということもあり、初めはいつもの調子が出ない人もいたかもしれませんが、途中からはハイタッチをするなど大変に盛り上がりました。また、最後の表彰式ではさらに盛り上がり、優勝から最下位まで楽しく!?発表に耳を傾けました。



栄えある第1回優勝チームは、ミツバ労組(自動車総連)澤田和英さん・東芝機器労組(電機連合)松井淳さん・JR東労組(JR総連)山口泰武さん・東電労組(電力総連)高橋慎一さんの4人でした。(右の写真)

また、個人優勝は、1ゲーム目で自己新記録を出したという全通の田村進さん、女性は、代理で参加したカネボウ労組(U・ゼンセン同盟)の益子直美さんでした。

今回の組織交流は仲間同士が一つになって楽しめるイベントであったと思います。今後も女性にも参加しやすい行事を企画して行きますので、今回参加できなかった方もぜひ参加してください。



(左から高橋さん・山口さん・松井さん・澤田さん)